

プレスリリース

このリリースに関する連絡先:

三島祐子
広報担当アシスタントマネージャー
03 6271 9408
yuko.mishima@bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー、楽天証券による投資一任型運用サービス「楽ラップ」の立ち上げにおいて法的アドバイスを提供

【東京発 2016 年 7 月 13 日】

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：ジェレミー・ピッツ）は、楽天証券株式会社による、大手ネット証券*で初めて**の投資一任型運用サービス「楽天証券ラップサービス（愛称：楽ラップ）」の立ち上げにおいて法的アドバイスを提供しました。「楽ラップ」は、従来のラップサービスとは異なり、インターネット上で完結できるため費用が低廉で、多くの投資家が簡単に始めることができる革新的なサービスです。その特徴は、楽天証券のウェブサイト（[こちら](#)）をご確認ください。

ベーカー&マッケンジーでは、東京事務所の銀行・金融部門のグループ所属の山中真人弁護士がリード・パートナーとして本案件に携わりました。

山中真人弁護士は「業界最低水準**の手数料やフィンテックを活用したロボ・アドバイザーによるポートフォリオ選定など、画期的で革新的な金融サービスの立ち上げに携わることができ、大変光栄に思います。ベーカー&マッケンジーは今後も、クライアントの皆様に価値ある法的アドバイスを提供できるよう尽力して参ります。」と述べています。

*SBI証券、松井証券、カブドットコム証券、マネックス証券、楽天証券

**2016年6月14日時点。

■ 本件における責任者



山中 真人
パートナー 銀行・金融グループ、キャピタル・マーケットグループ
03 6271 9482
masato.yamanaka@bakermckenzie.com

金融および企業法務の分野で 10 年以上の実務経験を有する。『日本不動産学会誌』の「賃貸住宅管理に関するアメリカの法制度」と題する論文をはじめとする多数の出版物の執筆を手がける。また、金融機関、弁護士事務所、会計事務所、税務事務所、不動産会社およびコンサルティング会社向けの講義を数多く行う。

■ ベーカー&マッケンジーについて

ベーカー&マッケンジーは、47 か国 77 の事務所に 12,000 名以上を擁する国際法律事務所です。1949 年の設立以来、各国の言語およびビジネス環境に対する深い理解に基づく高品質のサービスを提供する法律事務所として知られています。2015 年 6 月 30 日決算期における収入は、24 億 3,000 万米ドルになります。ファームのエグゼクティブ・コミッティのチェアマンは、エデュアルド・レイテイが務めています。

www.bakermckenzie.com

ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）は、ベーカー&マッケンジーの東京事務所として 1972 年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカー&マッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp



ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）はスイス法上の組織体であるベーカー&マッケンジーインターナショナルのメンバーファームです。ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）及びベーカー&マッケンジーインターナショナルのその他のメンバーファームは、日本においては弁護士法人ベーカー&マッケンジー法律事務所を通じて業務を提供します。専門的知識に基づくサービスを提供する組織体において共通して使用されている用語例に従い、「パートナー」とは、法律事務所におけるパートナーである者またはこれと同等の者を指します。同じく、「オフィス」とは、かかるいずれかの法律事務所のオフィスを指します。